

施の場合、20億円の差が出—うち1カ所は休園中)に関—ツク造▽3階以下で高さ13—

真人ら部会メンバー

# 「木チップ舗装」で試験施工

## リサイクル研究開発で性能検証へ

県内で発生する廃木材の再利用に向けて県土木部などは12日、諫早市の総合運動公園において「木チップ舗装材」の試験施工を行った。緑化基盤材、マルチング材に続く工法の現場検証。産学官連携により県などが



「木チップ舗装材」試験施工の状況

研究開発を進めている「建設発 生木材リサイクル 事業」の一環として、木チップや再生石膏などを混合したものを公園・広場などの歩行者道路や建築屋外に使用できるよう、基本性能やデザイン性などを検証していく。

大学大学院のチップ舗装材研究部会リーダーである森田千尋助教などとも立ち会った。部会メンバーである(株)真人、(株)マツヤ産業、佐藤建設(株)、(株)松栄技建などの関係者が試験施工を行った。施工は、あらかじめ掘削しておいた遊歩道に、下層路盤材として木チップと再生石膏を混合したものを10センチ敷き詰めてローラーで転圧。その上に樹脂とおがくを1対1の割合で混ぜて少量の水を加え、ミキサーで攪拌(かくはん)。上層路盤材として2センチ敷き詰めて転圧し、クッション性のある遊歩道が出来上がった。 今後は、経過観察を定期的に行いながら状況を確認。

摩擦による表面の破壊や耐久性、風雨にさらされた場合の腐食などについて検証を重ね、土壌汚染などに対する安全性や腐食などの耐久性について調査を行っていく。

県では、木チップやリサイクル資材の需要を高めることを目的に、長崎大学や企業とともに七つの研究会を設置し、施工性や安全性、材料試験などを実施しており、2008年度からのリサイクル資材認定制度の開始を目指している。

### 1階を診療室に

#### こどもセンター改修

大村市

大村市は来年度、こどもセンター(本町413ノ2)1階の多目的ホール(建築面積約1070平方メートル)を一部改修し、初期診療室を設ける考え。現在、着手時期や発注形態について協議を進めており、2007年10

物が適合しなければならぬ構造方法について、その技術的基準と構造方法の安全性を確かめるための構造月20日

### 複製承認手続き合理化など

## 測量行政のあるべき姿

### 国土地理院の測量

国土地理院の測量行政懇談会(委員長・中村英夫武蔵工業大学学長)は、2006年度報告書「測量新時代に対応した測量行政のあるべき姿について」をまとめた。

月開設に向け準備を進めている。

同施設内で行っている乳幼児の健診場所が手狭となっているため計画が浮上。また現在、市立病院で行われている15才未満の小児急病者の初期診療は改修後の施設で対応し、準夜間(19時22時)診療センターとして利用される見通し。

測量成... ターネ... ▽複製... ▽複製... ストップ... などを描... 測量... 地理院... を書店... のが現... インター... な地理... とで、利... を図る... 複製... で営利... する。携... S(地理... 景デー...

